

公益財団法人実務技能検定協会 令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

I 事業の実施状況

本協会は、定款第3条および第4条に基づき、ビジネス実務に関する技能検定の実施により、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、および職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行った。

【公益目的事業（公1）】

1 技能検定の実施

- (1) 令和6年度における秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能およびサービス接遇実務の計4種目の技能検定（C B T試験3種目を含む）を、計画通り実施した（「令和6年度技能審査実施状況表」参照）。その結果、志願者合計は130,251名となり、前年度比91.1%（12,759名減）であった。

なお、令和6年10月15日から開始した「ビジネス実務マナー技能検定C B T」の志願者は、2級383名、3級279名（計662名）であった。

- (2) 新検定業務システム（ビジネス系4検定の受験者管理・団体管理・試験会場管理・試験管理・運用管理・ホームページ管理）の構築・運用に関し、令和7年4月運用開始を目指して新業務委託先である日本通信紙株式会社と開発の打ち合わせを行った。

なお、旧システムは、新システム運用開始後の想定外の不具合等に備えるため、暫定的に令和7年8月31日まで使用可能とした。

- (3) 新検定業務システムの構築に関連して、協会ホームページの全面的なリニューアル、試験制度の運用変更（実施団体への手数料内容の変更、個人受験者向け「マイページ」の導入等）のための準備を行った。

2 研究会・講習会の開催

- (1) 秘書ビジネス実務教育担当初任者研究会（地方研究会）の実施

ビジネス系検定の普及・振興を目的として、ビジネス実務教育の担当初任者に対し、検定指導法等についての研究会を開催した。令和6年度は前年度に引き続き「オンライン」形式での実施とした。

5/10(金)・11(土) 55名出席（東北・新潟・北陸・中部・大阪・沖縄を対象）

10/4(金)・5(土) 62名出席（北海道・関東・中国・四国・九州を対象）

(2) 秘書・サービス接遇検定準1級実技指導研究会の開催

ビジネス実務教育・就職指導担当者向けに「秘書・サービス接遇検定準1級実技指導研究会」(就職面接試験に役立つ基本動作と話の仕方の指導)を東京・大阪で開催した。

5/24(土) 東京 28名出席

6/1(土) 大阪 20名出席

(3) 秘書検定・サービス接遇検定準1級面接試験実施担当者資格研修会の実施

秘書検定およびサービス接遇検定準1級面接試験実施担当者の能力保持を目的として、対面形式およびオンライン形式の研修会を実施した。

① 対面形式

7/20(土)北海道4名、9/7(土)九州22名、9/15(日)北陸8名、9/16(月)関西27名、9/21(土)関東46名、9/22(日)東北10名、9/28(土)中国四国16名、9/29東海15名、10/21(土)新潟8名、12/21(土)沖縄6名(10地区計162名出席)

② オンライン

R7.3/1(土) 85名

3/2(日) 90名(計175名出席)

3 成績優秀者および成績優秀団体の表彰

令和6年度成績優秀者・優秀団体表彰式を、令和7年3月14日、アルカディア市ヶ谷(新宿区)において、受賞者49名(個人24名、23団体)および文部科学省等の来賓を含む計56名の出席を得て実施した。

各検定の表彰数

【個人】	文部科学大臣賞	理事長賞	優秀賞	日本秘書クラブ 会長賞	日本秘書クラブ 奨励賞(新設)
秘書	2	2	60	4	20
ビジネス文書	2	2	30	4	20
ビジネス実務マナー	1	2	17	4	10
サービス接遇	2	2	67	4	27
合計	7	8	174	16	77

【団体】	文部科学大臣賞	団体優秀賞	感謝状贈呈
秘書	3	40	50
ビジネス文書	3	7	10
ビジネス実務マナー	3	5	5
サービス接遇	3	30	25
合計	12	82	90

【収益事業（収 1）】

以下の通り、実務技能検定に関する問題著作権の提供等を行った。

- （１） 早稲田教育出版に対し、ビジネス系検定実問題著作権の提供およびビジネス系検定受験参考書の監修を行った。
- （２） （株）ユーキャンに対し、秘書検定実問題 1 回分およびサービス接遇検定実問題 1 回分の著作権を提供した。

以上